

超電導リニア 改良型試験車の製作について

当社では、2027年の中央新幹線 品川・名古屋間開業に向け、山梨リニア実験線において、2013年からL0系車両による走行試験を実施しています。

このたび、リニア営業車両の仕様策定に向け、L0系を更にブラッシュアップさせた改良型の試験車を製作することになりましたので、お知らせします。

1. 試験車の改良点（別紙1・2）

（1）先頭形状の最適化

- ・今回の改良型は、営業車両の仕様である誘導集電方式を全面的に採用するため、ガスタービン発電装置を搭載しないこととします。これを前提として、これまでの走行試験で得られた結果をもとに先頭形状を最適化することで、L0系と比較して、先頭部の空気抵抗を約13%下げ、消費電力や車外騒音を低減します。

※誘導集電方式：電磁誘導の作用を利用して、車内用の電気（照明や空調など）を非接触で供給する方式

※ガスタービン発電装置：灯油を使用して、車内用の電気を発電する装置

（2）前照灯・前方視認用カメラ位置の変更

- ・前照灯および前方視認用カメラの位置を上部に変更し、前方の視認性を向上させます。

（3）カラーリング

- ・進化し続ける躍動感と新しい先頭形状での滑らかな空気の流れを、青の流線デザインによりイメージしています。

2. 製作車両数

- ・先頭車：1両
- ・中間車：1両

※走行試験の際は、既存のL0系先頭車・中間車と組み合わせて走行する予定です。

3. 製作メーカー

- ・先頭車：(株)日立製作所
- ・中間車：日本車輛製造(株)

4. スケジュール

- ・2020年春 完成予定



